

小学校第4学年 道徳学習指導案

平成29年11月13日（月）第5校時

児童数 20名

授業者 四万十市立中村南小学校 岡田 由佳

1 主題名

正直に明るい心で 【正直、誠実】 中A－（2）

2 ねらいと教材

（1）ねらい

その日のうちにおつりを返しに行ったエイブの気持ちを考えることを通して、過ちを素直に反省し、正直に伝え改めることの大切さに気づかせ、明るい心で生活しようとする心情を育てる。

（2）教材名

6セント半のおつり < 私たちの道徳 小学校3・4年 文部科学省 >

3 主題設定の理由

（1）ねらいや指導内容についての教師の捉え方

中心とする指導内容は、A「主として自分自身に関すること」の（2）「過ちは素直に改め、正直に明るい心で生活すること」である。児童が健康的で積極的に自分らしさを発揮できるようにするには、自己の過ちを認め、改めていく素直さを持つとともに、何事にも誠実に真心を込めて明るく楽しい生活を心がけようとする姿勢を持つことが大切である。社会生活において、過ちや失敗は誰にでも起こりうることであり、そのときに自分を守ろうとして、うそやごまかしをしてしまうと、結果として自分自身の中に後悔や自責の念、強い良心の呵責などが生じる。それらを乗り越えようとするのが正直な心であり、自分自身に対する真面目さであり、伸び伸びと過ごそうとする心の明るさである。このことは、自分自身を向上させていくことにもつながっていくと思われる。このような誠実な生き方を大切にする心情を育てたい。

（2）児童生徒のこれまでの学習状況や実態と教師の願い

本学級の児童は、

～中略～

（3）使用する教材の特徴や取り上げた意図及び具体的な活用方法

本教材は、店で働く若いエイブが、昼間の女性客に渡す釣り銭が少なかったことに夜になって気づき、わずか6円ほどのお金を、2時間かけて届けに行ったという話である。自分の失敗を素直に認め、「正しいことをしたい」という心を強くもったエイブに共感させることで、正直で誠実な行動は、自分も周りもすがすがしく明るい気持ちにすることに気づかせたいと考えた。自分たちの生活と重ね合わせて話し合っていく中で、自分自身を振り返り、正直であることの快適さを考え、過ちを素直に認め改めることが、明るい気持ちで生活することにつながることに気づかせたい。

今年度の本校の研究主題は『自己の生き方をみつめる児童の育成～道徳科の研究を通して～』である。この教材を通して、過ちを素直に認めて生活することの大切さに気づき、明るい心で生活していこうとする態度へつなげていきたい。そして、自分の今までの生活を振り返ることによって、自己の生き方をみつめ直し改めていけるようにし、研究主題へとつなげていきたい。

4 学習指導過程

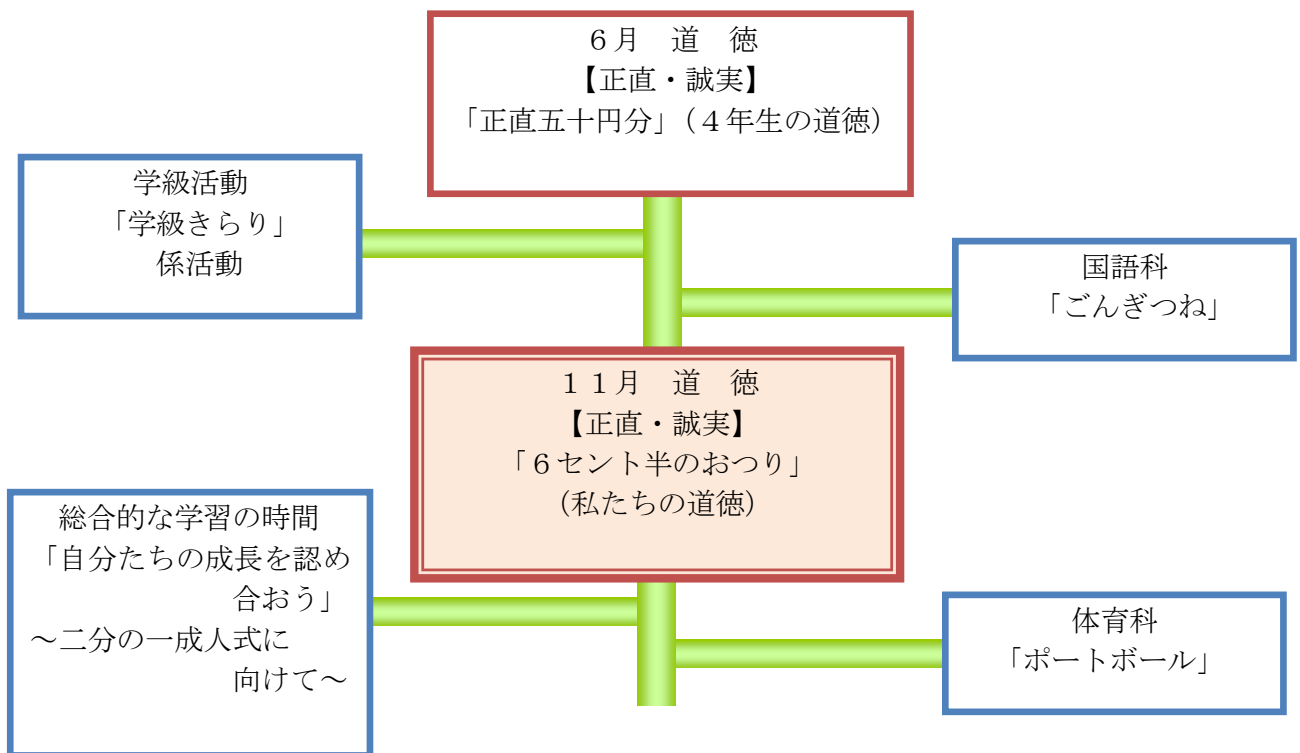
	学習活動	主な発問と予想される児童生徒の反応	指導上の留意点
導入	1. 「正直」な人とはどんな人と思うか話し合う。	・うそをつかない人 ・本当のことを言う人 ・何でも話す人	・『正直』について話し合い、価値への方向付けを図る。
展開	2. 教材「6セント半のおつり」を読んで話し合う。 (1) 自分がエイブだったらどうするか考える。 (2) 夜道を2時間かけて返しに行ったエイブの気持ちを考える。 (3) 「正直」な心について考える。 3. 今日の学習を振り返る。	○リンカーンの話だということを知らせる。 ○自分がエイブだったら、どうしますか。 ・すぐに届けに行く。 ・正直に言いに行く。 ・夜だし、寒いから、明日届けに行く。 ・たったの6セント半だからそのままにする ・今度、店に来た時に返す。 ◎エイブは2時間もかけて、なぜ今日のうちに返しに行ったのでしょうか。 ・少しでも早く届けようと思ったから。 ・うそをついたようで、気持ち悪いから。 ・相手がおこっているかもしれないから。 ・もう店に来てくれないかもしれない。 ・おつりをまちがえたままにしておけない。 ・正直に言った方がすっきりする。 ○「正直」な心とはどのようなものだろう。 ・ごまかしたり、うそをついたりしない。 ・自分のまちがいと言えること。 ・すぐにまちがいを直すことができる。 ○今日の学習でわかったことをもとに、これからどのように過ごしていきたいですか。 ・正直に、うそをつかずに過ごしたい。 ・まちがえたら、すぐにきちんと言う。 ・ごまかさずに、気持ちよくすごしたい。	・自分に置き換えて考えさせる。 ・どちらの意見も共感的に受け止める。 ・「夜なのに」「2時間もかけて」今日のうちに返しに行こうとするエイブの気持ちを捉えさせる。(ワークシート活用、ペアで交流する) 【切り返しの発問】 ・「明日でもいいのでは。」 個迷っている児童に声をかける。 ・自分の過ちは素直に認めることの大切さに気づかせる。 ・エイブのように正直に気持ちよく過ごしたいという思いを持たせる。
終末	4. 映像を見る。	○今日の勉強を振り返りながら、映像を見ましよう。	○映像を見せ、余韻を残して終わる。

【評価】

※自分の過ちは素直に認めることの大切さを理解し、正直で明るい心で生活しようとする道徳的心情を高めている。(発言・ワークシート・道徳ノート)

○準備物 ワークシート・私たちの道徳・映像・電子黒板

5 他の教育活動との関連



6 板書計画

